



市中、今年の漢字は「進」

▼12月23日(金)、登校日が81日(3年生は82日)という最も長い2学期が無事に終了しました。終業式では、全校生徒に次のような話をしました。

▼2学期も相変わらずのコロナ禍でしたが、陵風祭に、修学旅行、宿泊学習、新人戦に合唱発表会、そして生徒会役員選挙と、次々に大きな行事を、様々な工夫と皆さんの頑張りによって、成功に導いてくれたことをうれしく思います。▼また、今学期は全校道徳を2度開催し、SDGSについて学びました。この中で、「誰一人、取り残さない」というSDGSの理念のもと、今後の学校生活においても、様々なことに取り組んで行きましょうということ全員で確認することができました。▼同時に、学校としては「一人一人が大切にされる学校」を目指して、多様性と利便性を兼ね備えた制服、すなわち、「ユニバーサル制服」の導入について提案し、生徒からも保護者からも、圧倒的多数の賛同を得ることができました。▼今後は、検討委員会で審議する中で、制服の選考作業を進めていきます。当然、皆さんや、保護者の意見も聞きながら進めていくこととなります。皆さんにとっては、実際に着用する制服ではないのですが、未来の市中生のために、より良いものを提供できるように、そして、この取組を通して、皆さん自身の学校生活が、より良いものとなることを願っています。▼さて、先日、今年の漢字に「戦」が選ばれました。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻という「戦争」の恐ろしさを目の当たりにした年であったことや、円安・物価高など生活の中での「戦い」、サッカーワールドカップでの日本代表による「熱戦」が繰り返されたことなどによるものだと言われています。▼皆さんにとっての漢字は何が思い浮かびますか？校長先生としては「進」という漢字が思い浮かびました。理由としては、コロナ禍は3年目になりますが、今年は、1年目、2年目に比べるとはるかに「進化」した取組が学校行事においてもできた年になったと考えているからです。

具体的には、修学旅行も2泊3日という新たな形で広島に行き平和学習を行ったり、3年ぶりの職場体験学習ができたからです。また、SDGSやユニバーサル制服の取組など、これまでより、一歩も二歩も高いレベルでの先進的な取組にも着手することができたからです。▼このようなことから、まさにこの一年は「進」の字が市川中にはふさわしいと思うのですが、皆さんはどう思いますか？また、皆さんにとっては「どんな一年」だったでしょうか？▼さて、このように充実した2学期であり一年でしたが、いよいよ、明日からは、待ちに待った冬休みが始まります。17日間の休みになりますが、一年のまとめをしっかりと行い、素晴らしい新年のスタートダッシュをきって欲しいと思います。3学期の始業式では、やる気に満ちた元気な姿を見られることを期待しています。有意義な冬休みにしてください。

生徒会役員選挙

▼20日(火)令和5年度生徒会役員選挙が行われました。2・3校時に行われた立会演説会では、会長候補1名、2年副会長候補2名、1年副会長候補1名、書記候補2名、会計候補2名の計8名の候補者が力強く選挙公約と決意を述べました。また、各応援演説者も候補者の長所やこれまでの実績を熱く語り支持を呼びかけました。▼5・6校時に投開票が行われ、結果は以下のようになりました。選挙が終わればノーサイド、さらなる市川中学校の発展のために、生徒会が一丸となって、学校生活を豊かなものにして欲しいと思います。



会長：菅原琉珂
副会長：三澤芽唯 秋山翔太 村松大悟
書記：丹沢真唯 会計：一瀬そら